

# 【シリーズ】 報告書を読み解く～その試験結果どういう意味～

## ⑤ 摩擦試験の判定

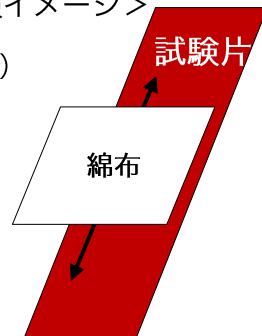
真っ白な服や淡い色の服を着ているとき、色の濃い衣料品やバッグなどから色が移ったりした経験はありませんか？日常生活において衣料品同士が擦り合う機会はたくさんあります。歩く動作でも摩擦が発生しています。そこで摩擦試験を行い、他の衣料品へ色が移る恐れがないか調べることで消費者に安心な製品を提供できます。試験では、生地添付白布を擦りつけ白布への「汚染」を判定します。

<摩擦試験機Ⅱ型>



試験機に試料と添付白布（乾燥及び100%湿潤状態※）を取り付け、荷重を掛けながら100回往復  
※100%湿潤状態とは・・・  
添付白布と同じ重さの水を含ませた状態

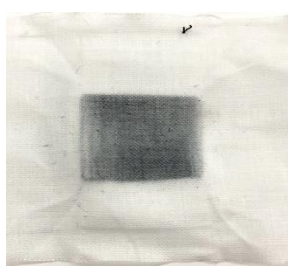
<試験イメージ>



判定結果



乾燥 4級



湿潤 1-2級

### 一般的な目安

- 乾燥： 4級以上  
(3-4級以上)起毛品・濃色品  
<3級以上>デニム
- 湿潤： 2-3級以上  
(2級以上)起毛品・濃色品  
<1-2級以上>デニム

### ⚠ 目安に満たない原因

- ・ソーピング不足（未固着染料の除去不足）

### 💡 注意が必要な素材

- ・インディゴ染料や顔料を用いた素材
- ・引っ掛かりの強い素材

◎一般的な目安に達していないと、純白の心も汚れちゃうケン！！



HPでは試験方法を紹介。QRコードまたは、下記の文字をクリックして参照ください  
[ボーケンのHPから閲覧する。](#)

上記の内容についてご不明な点等ございましたら、こちらまでお問い合わせください。

## 東京試験センター

所在地 〒135-0001 東京都江東区毛利1-12-1

担当 中井 mail:

nakaikazutaka@boken.or.jp

## X(イクス) @boken1948

試験動画や豆知識など役立つ情報を発信しています！みなさまのフォローお待ちしております！

